

## 令和3年度 第2回 松田町総合計画審議会 議事録

日 時：令和3年11月15日(月) 午後2時30分から午後4時30分

場 所：松田町役場 4階 大会議室

出席者：12名

吉田委員、青木委員、安藤委員、吉崎委員、武尾委員、秋田谷委員、  
和田委員、古舘委員、菅谷委員、吉川委員、小池委員、守屋委員（名簿順）

欠席者：2名

石川委員、熊谷委員

町 長：田代副町長、浄泉教育長、石井議会事務局長、鈴木政策推進課長兼定住少子化担当室長、  
早野総務課長兼安全防災担当室長、山岸税務課長、川本町民課長、石渡子育て健康課長、  
椎野福祉課長、柳澤観光経済課長、渋谷環境上下水道課長、高橋参事兼まちづくり課長、  
遠藤教育課長

事務局：政策推進課（鍵和田、金谷）

傍聴者：なし

### 会次第

1. 副町長あいさつ
2. 自己紹介
3. 会長あいさつ
4. 議事録署名人の選出
5. 議事
  - (1) 松田町第6次総合計画に係る取組の進捗状況及び評価について【資料1, 2, 3, 4】
  - (2) 令和4年度に予定している松田町第6次総合計画に係る基本計画見直し・後期まちづくりアクションプログラム策定について【資料5, 6】
6. その他
7. 閉会

## 主な質疑記録

### ■議事（1）松田町第6次総合計画に係る取組の進捗状況及び評価について

古舘委員：

資料2-2の1ページ、「町立幼稚園、小学校の適正規模、配置のあり方検討委員会の設置」について、「9月中下旬に保護者アンケートを実施しました」との記載があるが、結果は出ているか。意見の方向性の結果について、特徴はあったか。

教育課長：

結果は出ている。現在、アンケートの集計が終わり、町公式サイトに結果を公表している。アンケートの対象は町内幼稚園2園、小学校2校、中学校、さくら保育園で、町内の保護者の総数699人に対し、175世帯から回答をいただき、回答率は25.0%の結果であった。回答率が低かった要因は、初めてWebで実施したためと考えられる。

アンケート調査項目は、大きく2点で、1点目は「幼児教育及び学校教育の実施の状況について」、2点目は「町立幼稚園・小学校の今後のあり方について」であった。

1点目の調査項目は、ICT教育やインクルーシブ教育、給食、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組みなどの設問に対し、回答をいただいた。

2点目の調査項目である「町立幼稚園・小中学校の今後のあり方について」は、「中学校を統合する際、経過を見て保護者の意見を聴取する」というものであったため、アンケート調査に含んだものであった。この内、「3年前の中学校の統合について」の設問では、中学校の保護者から概ね理解を得ている回答結果であった。また、今後検討する「寄幼稚園、寄小学校の統合について」の設問では、寄地区と松田地区との意見が分かれていることが特徴的であった。このアンケート調査は、方向性を決めるものではなく、今後の取組みの参考資料とするものであることをご承知願いたい。

安藤委員：

資料2-1の2ページ、「新型インフルエンザ対策の啓発推進」について、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種を始める時期はいつ頃か、また、飲み薬の進め方について、見通しはあるか。

子育て健康課長：

3回目の接種について、国からは、2回目の接種終了後、8か月を目途に3回目を接種することとされている。12月から医療従事者の方が3回目の接種に入る。高齢者の方々は、今年の5月から接種をスタートしたので、1月から対象者が出てくるため、12月中には接種券を発送する予定である。その後の対象者には、3回目接種の1か月前には接種券の発送を行う予定である。

治療薬としての飲み薬については、町には情報はない。情報が入ったら、周知する。

吉崎委員：

資料2-2の3ページ、「地産地消」等について、ジビエが問題となっており、解体処理場ができるできない、止まっているという話は聞いている。地産地消や地場産品という点で、一つの産業になったら良いなど思っている。安全で美味しいジビエ肉を給食に出せたらと思っているので、検討していただきたい。

観光経済課長：

ジビエの処理加工施設がどういう状況かというご質問があった。今年度の予算において、工事までの費用を計上している。ついては、今年度中に工事を完了する。現在、広域で取組みを進めているが、大きく分けて2つの点で時間がかかっている。1点目は、足柄上郡5町で費用負担、持ち込みを含めて進めている。もう1点は、こうした施設が近隣で例がない。建てる場所について、地元の皆様にご理解を得ないといけない。これを今、慎重に進めている。

ジビエの肉を給食に出すことについて、給食に使っていただけたら最高だが、食材としての安全性をどこまで担保できるかという面では、ハードルが高い。皆様に食べていただきたい気持ちはあるので、しっかり研究をしていきたい。

守屋委員：

資料2-5の4ページ、「防災訓練の実施」方法について、内閣府が毎年実施している総合防災訓練のような訓練を、松田町では実施する計画があるのか。また、発災後の被災者の情報を管理する被災者支援システムの導入の計画はあるのか。

総務課長兼安全防災担当室長：

総合防災訓練を何年おきに実施するかという計画については、現在検討中。今年度はまだ防災訓練を実施していませんので、大規模な訓練については、今後の状況を勘案しまして、検討していく予定である。

被災者支援システムについては、現在、運用していない。システムの内容を確認し、活用できるものは活用していきたい。

小池委員：

資料2-4の2ページ、「新松田駅・松田駅周辺の整備」について、地権者とはどういった話し合いになっているか教えてほしい。

参事兼まちづくり課長：

10月、11月にかけて個別で順番に町職員が面談を行っている。地権者は40名程度いるが、現在は4分の3ほど面会を終えた。反対はほとんどいないが、条件次第という方は何人かいらっしゃる。逆に、積極的に進めてほしいという方は多いため、概ね順調に進んでいると認識している。

吉田委員：

資料2-5の2ページ、「子どもの館の利用促進」について、ボランティアをしているが、町内の方の利用が少ない。指定管理者制度導入の検討よりも、松田町の子どもたちの利用が増えるためにはどうしたらよいか真剣に考えてもらいたい。駐車料金 500 円がかかるのが、ネックになっているかもしれない。

観光経済課長：

子どもの館の町内の方の利用が少ないことは承知している。駐車場の料金徴収は、従来、シルバー人材センターの方に行っていたが、これからは自動化を行う。駐車料金は、週末だけいただいているが、見直しを考えている。いただいた意見を参考に、条例で決められた料金の設定を考えていく。なお、入園料も議会でお認めをいただいたが、町民は無料にさせていただいている。

青木委員：

資料2-5の4ページ、「防災備蓄品の整備」について、各自治会にアルファ米といった食糧やペットボトルの飲料水を配布しているので、そのことも記載した方がよいのでは。

総務課長兼安全防災担当室長：

各防災倉庫に備蓄していることをテーマに記載していた。各自治会への配布も実際に行っているため、そちらも記載していきたい。

■議事（2）令和4年度に予定している松田町第6次総合計画に係る基本計画見直し・後期まちづくりアクションプログラム策定について

秋田谷委員：

総合計画では、松田町の人口目標について1万人となっている。人口を維持する、または増加させるために、町としてどういった対策を考えているのか。

政策推進課長兼定住少子化担当室長：

総合計画の39ページに記載している人口の維持・確保に3つの戦略を掲げて、そのひとつ目の合計特殊出生率を上げる方策等を展開していく。具体的には、子育て支援センターの機能拡充と充実、小児医療費の助成事業や新松田駅周辺整備事業における居住場所の確保、子育て住宅の整備なども行ってきた。様々な事業を展開し、将来人口2040年の人口1万人を目指していく計画である。